

2020 年 6 月 29 日

通貨ニュース

メキシコ：中銀が利下げを迫られる構図に変化なし

メキシコ中央銀行(Banxico)は 6 月 25 日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を従来の 5.50%から 5.00%へと 50bp 引き下げることを全会一致で決定した。2019 年 8 月以降、9 会合連続の利下げとなり、利下げ幅は計 325bp となった(図表 1)。新型コロナウイルスの感染拡大による影響を念頭に、引き続き根強い景気下振れリスクに対応する。

Banxico は声明文(英訳版)で、先進国における財政・金融政策による景気対策や経済活動の正常化の動きにより、国際金融市場に改善がみられると指摘。MXN の持ち直しに言及した(図表 2)。一方で、足許で国際機関が成長率見通しの下方修正に至った点に警戒を示すとともに、こうした見通しも大きな不透明感に晒されているとの認識を示した。

メキシコの国内景気に関しては、1~3 月期に著しい落ち込みが見られた点を確認するとともに、感染拡大の影響は 4 月にさらに強まった(the impact of the pandemic intensified in April)との認識を示した。また、5~6 月には経済活動が一部再開したものの、感染拡大の影響は甚大であり不透明感も根強いとした。その上で、経済の緩みはさらに拡大(greater economic slack is expected)、経済面でのリスクバランスは明らかに下方向にある(significantly biased to the downside)と警戒感を示した。

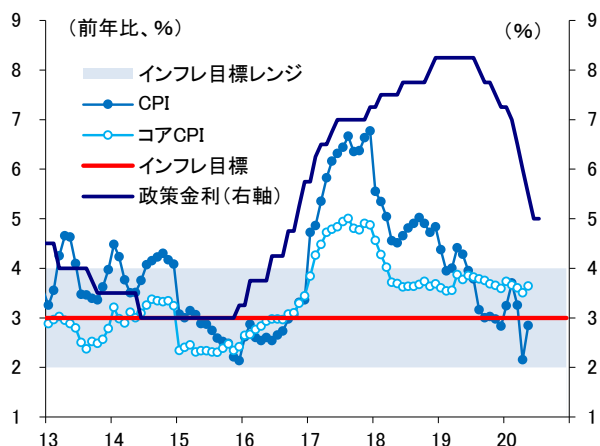
実際、4 月の経済指標は惨憺たる内容だった。自動車生産台数が前年比▲98.8%、鉱工業生産は同▲29%、民間正規雇用者数は同▲55.5 万人、小売売上高は同▲23.8%、経済活動指数(いわゆる月次 GDP)も同▲19.9%とそれぞれ 3 月比で大きな落ち込みをみせた。また、5~6 月はメキシコで新型コロナウイルスの感染拡大がさらに本格化した時期にあたる(図表 3)。5 月分が確認できる指標のうち自動車生産台数は前年比▲93.7%、民間正規雇用者数は同▲34.4 万人と低迷が続くのも自然な流れだろう。

景気先行きの目安のひとつとなる企業マインド指数は、5 月も製造業・非製造業ともに歴史的に低い水準にとどまる(図表 4)。Banxico は 6 月初旬に公表した資料の中で、いわゆる V 字型の回復シナリオだけではなく、景気の落ち込みが深押しするシナリオ(deep V-shaped)やより緩慢な景気持ち直しシナリオ(deep U-shaped)に言及。2020 年の実質 GDP 成長率が、それぞれ前年比▲8%超の落ち込みになりうるとし、市場の見通しを事実上追認した(図表 5、6)。ただ、IMF の最新の見通しでは前年比▲10.5%(4 月時点:同▲6.6%)まで下方修正されており、Banxico の見通しは下振れ含みといえそうだ。

メキシコ経済にとって最も厄介なのは現政権の経済政策運営だ。新型コロナウイルスという脅威に直面してもなお、緊縮財政と民間部門軽視の姿勢が続く。感染収束だけでなくその後の景気回復が展望し難いことが、上述の下方修正の主な要因だろう。Banxico には金融緩和による景気下支えが求められ続けそうだ。

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 政策金利とインフレ率



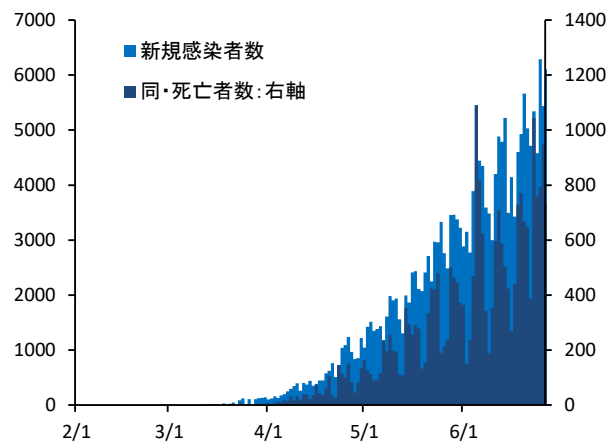
出所: メキシコ中央銀行、地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: メキシコのソブリン CDS (5 年物) と USD/MXN



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

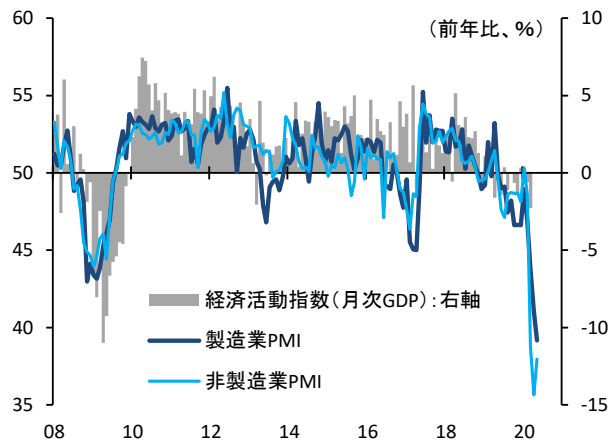
図表 3: 新型コロナウイルスの新たな感染者数と死亡者数(人)



(注) 2020年6月26日時点

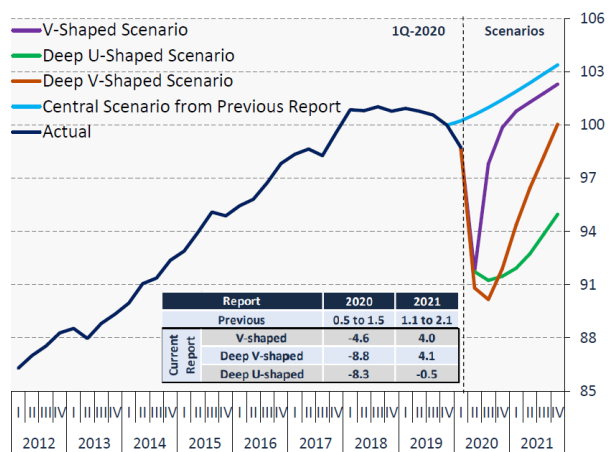
出所: WHO、CEIC、みずほ銀行

図表 4: 購買担当者の企業景況感(PMI)と月次 GDP



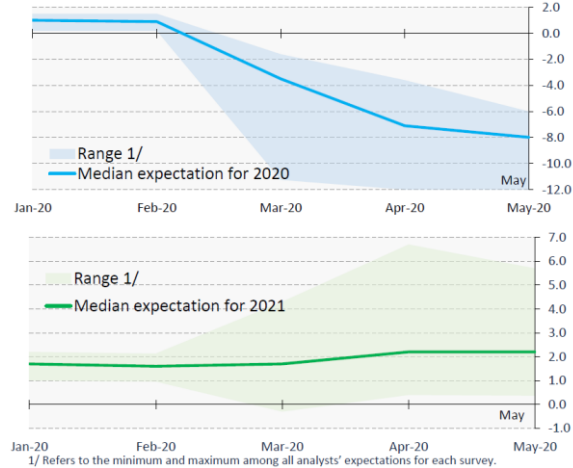
出所: メキシコ財務行政機構、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: Banxico の実質 GDP 見通し(2019 4Q=100)



出所: メキシコ中央銀行、地理統計院

図表 6: エコノミストの実質 GDP 成長率見通し(前年比、%)



出所: メキシコ中央銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。